

医師監修

依頼しやすい費用形態

記事引用:【2022年】医師監修の記事、依頼費用やおすすめの依頼先は？
<https://crowdworks.jp/times/know-how/13264/>

〈なぜ、医師監修が求められるのか〉

医学的な根拠を必要とする記事を作成したい場合、医師または専門家へ監修を依頼することを「医師監修」と呼びます。

医師監修とは、医学的な内容を含むコンテンツ（医療・美容・ヘルスケアなど）を作成する際に、医師が記事監修を行うことです。

実際に記事を執筆するのは、医師免許や特定の資格を取得していないライターであるケースが多いため、以下のような観点から医師にチェックを依頼します。

- ・医学的な内容を扱う部分に情報の誤りや偏（かたよ）りはないか
- ・読者の誤解をまねく表現、複数の解釈が可能な表現が使用されていないか
- ・薬機法(旧:薬事法)が守られているか

近年は医師監修の記事が増加傾向にあります。その背景として「コンテンツのクオリティ・価値・信頼性を高め、検索エンジンで上位表示させたい」というニーズが挙げられます。

とくに、医療系サイトは数多いため、検索上位を狙うためには Google の「検索品質評価ガイドライン」が定める評価基準(E-A-T)を満たす必要があります。

【E-A-Tとは】

- ・Expertise(専門性)
- ・Authoritativeness(権威性)
- ・Trustworthiness(信頼性)

つまり、Google は以下のような記事・コンテンツを評価する傾向にあり、E-A-T を高めるために医師監修を依頼するケースが増えています。

- ・特定のテーマを深掘りした 「専門性の高い記事」
- ・有資格者や専門家が監修した 「権威性の高い記事」
- ・正しい情報や根拠をまとめた 「信頼性の高い記事」

E-A-T を満たした記事は、Google からの評価が高まるだけでなくユーザーにとっても有益な記事といえます。

< 医師監修を依頼するメリット >

(1) 記事の信頼性が向上する

医師監修を依頼すると、医学的な根拠や専門知識にもとづいた「正しい情報」を発信できるため、記事（あるいはコンテンツ全体）の信頼性が向上するというメリットがあります。

また、「この記事は医師監修のもと制作しています」という文言を入れたり、監修者の情報（医師の名前・経歴・所属病院など）を記載したりすることで説得力が増し、ユーザビリティの向上にもつながります。

(2) SEO 対策になる

先ほども紹介した通り、医師が監修した記事は、E-A-T を満たせる可能性が高いため、SEO 対策になることがメリットです。

専門性・権威性・信頼性の高い記事やコンテンツを制作すると、他サイトからの「被リンク」や「引用」の獲得につながり、ユーザーによる SNS での拡散といった副次的な効果も期待できます。

(3) 炎上リスクが軽減する

制作した記事が SNS で拡散・炎上してしまう例として、掲載されている医療情報が誤っていたり、紹介されている運動法や食事法を実践したユーザーが健康被害を訴えたりするケースが挙げられます。

医師に監修してもらうと「薬機法に違反していないか」「医学的な情報が正しいか」「誤解されやすい表現はないか」などの点を正確にチェックしてもらえるため、炎上リスクを軽減させることができます。

< 医師監修を依頼する際の費用相場 >

医師監修の費用は、監修者の職業や所持している免許の種類によって相場が異なります。

- ・医師免許を持っている場合 : 1 記事あたり 3~5 万円
- ・士業(看護師など)の場合 : 1 記事あたり 2~4 万円
- ・その他の専門家の場合 : 1 記事あたり 5,000 円~3 万円

中長期的に医師監修を依頼する場合、監修者(医師・看護師など)の給与や時給をもとに、監修費用を算出するケースもあります。

また、無償で医師監修を頼める場合もある一方で、有名な医師へ依頼すると相場より高額になることもあるなど、監修を依頼する相手や内容によって費用は大きく異なる傾向にあります。

(記事引用 終了)

< 菅野喜敬 医師(Yoshiyuki Kanno) の監修費用 >

- 1 年契約 : 年間 264,000 円(税込)
- 1 年以降 : 年間 132,000 円(税込)
- 3 年以降 : 無料 (新たな監修には個々に対応)

- ・毎月ホームページに記事をアップ
- ・会報誌に記事掲載、
- ・チラシ・パンフに医師の紹介文

他の監修に関しては、ご相談ください。
誠意をもって対応いたします。

< 監修条件 >

- ・ホームページ、チラシ、会報など都度、菅野医師の掲載 OK。
- ・セミナー依頼は、高齢のため、お受けできません。
- ・チラシ掲載はよいが「申込書」への掲載はできない。
- ・販売チラシ掲載の場合は、社名部分から推薦文を離すこと。
- ・契約期間中に、菅野喜敬 医師が他界された場合も契約は続く。(翌年の更新可)
※他界されても、生存中に現役医師が監修したので価値は落ちません。

< 手続き方法 >

- (1) オフィス・シラトリへご連絡ください。
TEL.070-5015-0086 担当 : 白鳥一彦
↓↓↓
- (2) 菅野喜敬 医師 と 面談
↓↓↓
- (3) 貴社とオフィス・シラトリが、契約取り交わし
↓↓↓
- (4) 年間契約料: 264,000 円(税込)の入金
↓↓↓
- (5) 医師監修の対象を提示していただき、監修
↓↓↓
- (4) 貴社は、それを利用してイメージアップを図る

< 年間監修費用の振込口座 >

みずほ銀行 浜松町支店
普通口座 1470613
オフィス・シラトリ 白鳥一彦

< 組織情報 >

オフィス・シラトリ
〒212-0027
川崎市幸区新塚越 201 ルリエ新川崎 701
TEL&FAX. 044-555-3042
E-Mail : shiratori@sinsi-japan.com
<http://sinsi-japan.com>



菅野喜敬 医師 公式サイト
<https://www.new-medicine.jp/kanno/>



菅野喜敬 (Yoshiyuki Kanno) 81歳 プロフィール

福島県立医科大学 医学部卒業
埼玉医大 内分泌代謝内科にて臨床研究
北品川総合病院 食養内科 勤務
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 研究生
東京大学附属病院 心療内科研修を経て、
財団法人 朝霞厚生病院 内科部長に就任

現在は、銀座数寄屋橋クリニック 院長

北品川総合病院 食養内科にて、
日野 厚 医師 (故 桜沢先生の直弟子) から
基礎・臨床研修を受ける。
北里研究所 桑木医師のもとで漢方医学を学び、
自ら組み上げた断食療法で、インスリン依存型の
糖尿病患者 15 名をすべて全快させる。



趣味は、身体トレーニング。2つのフィットネスジムで、ヨガ、気功、気導術で鍛練中！

◆糖尿病患者 15 人、全員完治

医療・環境ジャーナリスト 船瀬俊介

「断食療法で、糖尿病患者 15 人、全員完治させました。」

菅野喜敬医師は、自然治療の権威です。

彼はインスリン依存型の糖尿病患者を、すべて断食療法で、全快させたのです。

なんと、素晴らしいことでしょう。しかし、これは考えてみたらあたりまえ。

糖尿病の原因は、ようするに食べ過ぎです。なら、食べなければいい。子どもでもわかります。

しかし、現代の医者には、糖尿病患者に こう“指導” するのです。

「三食は、キチンとしっかり食べなさい」

あきました。三食しっかり食べてきたから、糖尿病になったのです。

誤った生活の結果が、病気である。

これは、古今の名医が明言していることです。

だから、誤った生活を正さなければ、病気が治るはずはありません。

しかし、現代の医者には「誤った生活は、そのまま続けろ！」というのです。

「生活が病気をつくる」という真実すら、医者には知らないのでしょうか？

それより、かれらは患者が治ってもらっては困るのです。

【菅野医師が説く、断食の効果】

- アトピー性皮膚炎は、断食が最高に効く、肌荒れも治っていく。
- 皮膚科ではどうにもならない乾癬症 (強度のアレルギーである乾いた皮膚疾患) も、断食を繰り返すことで治る
- バセドー病や甲状腺機能亢進症などのホルモン異常症は、断食で正常に治っていく。
- 腎臓病や肝臓病も、3 日断食や 7 日断食で治る。
- 潰瘍性大腸炎は断食が一番良い。